

氏 名 木下 弘基 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
東洋医学・筋生理学		日本生理学会、全日本鍼灸学会		
担当授業科目名 鍼灸技術学入門、鍼灸基礎技術学Ⅰ、鍼灸基礎技術学Ⅱ、臨床生理学実習、物理療法学				
教育上の能力に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業の工夫	2004－現在	ワーク・ライフバランスを軸に目標設定シートを作成させ、具体的な事例を紹介しながらキャリアプラン作成を指導している。		
授業の工夫	2010－現在	臨床シミュレーションを鍼灸技術実習に取り入れている。		
2 作成した教科書、教材、指導書等 作成した教材	2004	整形外科領域における身体所見の取り方と意義を図で解説。		
徒手検査法の概要	2004	主に植物機能について図とチャートを用いて解説。		
生理学サブノート	2004	病理学の概論について図とチャートを用いて解説。		
病理学サブノート				
その他教材作成 14 件				
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等				
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等 (資格) ホームヘルパー2級	1998	神奈川県知事		
(免許) あん摩マッサージ指圧師免許	2000	厚生労働大臣		
(免許) はり師免許	2000	厚生労働大臣		
(免許) きゅう師免許	2000	厚生労働大臣		
(免許) 特別支援学校自立教科教諭免許	2002	一種免許、理療、東京都教育委員会		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等				
東洋療法学校協会広報委員	2002－2004	東洋療法学校協会における広報活動		
東洋療法学校協会委員	2006－2007	第 31 回東洋療法学校協会教員研修会の企画・運営担当		
東洋療法学校協会試験官	2009	東洋療法学校協会におけるはりきゅう実技評価試験の試験官		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書)				
1. 一問一答はりきゅう理論・あん摩マッサージ指圧理論問題集	共著	2005	医道の日本社	浦田 繁、木下弘基、あん摩マッサージ指圧理論問題編, pp. 57-104
2. 国家試験快速マスター	共著	2005	医歯薬出版社	王 暁明、浦田 繁、木下弘基、他 5 名, IV解剖学, pp. 30-105
(報告書等)				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名	発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等	
(学術論文)				
1. 内関穴 鍼刺激による唾液 α-アミラーゼ活性に対する反応-ストレスマーカーとして唾液アミラーゼ活性を指標に-		大島隆、棚田徹也、木下弘基、他 4 名	東洋療法学校協会学会誌, 32, pp. 96-100, 2009	
2. Characteristics of contractile activity in the renal artery of ovariectomized rats.		Budbazar Enkhjargal, Hiroki Kinoshita, Yasushi Sakai、他 1 名	Journal of smooth muscle research, 44(1), pp. 17-28, 2008	
3. Functional differences of Na ⁺ /Ca ²⁺ exchanger expression in Ca ²⁺ transport system of smooth muscle of guinea pig stomach.		Sakai Yasushi, Kinoshita Hiroki, Homma Ikuo、他 3 名	Canadian journal of physiology and pharmacology, 83(8-9), pp. 791-797, 2005	
他 1 編				

<p>(学会発表等)</p> <p>1. The Role of purinoceptors and nitric oxide in gastric emptying.</p> <p>2. Alterations of diacylglycerol kinase activity in gastrointestinal smooth muscle insulin-dependent diabetes; a possible effect of herbal medicine on the alterations.</p> <p>3. 筋損傷及び筋肉痛に及ぼす低周波鍼通電刺激の影響 - 上腕屈筋群のエキセントリック運動による筋損傷・筋肉痛モデルを用いたパイロットスタディ -</p> <p>他1編</p>	<p>Sakai Yasushi , <u>Kinoshita Hiroki</u> , Ishida Yukisato</p> <p>Sakai Yasushi, <u>Kinoshita Hiroki</u>, Hashimoto Michio他3名</p> <p><u>木下弘基</u>、中野朋儀、野坂和則</p>	<p>第84回日本生理学会, 2007, 大阪</p> <p>FASEB Summer Research Conferences, Calcium and Cell Function, 2004, Colorado</p> <p>第38回東洋医学とペインクリニック研究会, 2002, 大阪</p>
<p>(その他)</p>		